

盛夏の候、同窓生の皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
 福士会長の下、現体制にて3年目を迎えました。今後も会員の皆様方と共に同窓会の更なる発展に努めてまいりますのでご協力賜わりたくお願い申し上げます。
 さて、本年も下記の通り「八戸工業大学同窓生の集う会」および各支部総会を開催いたします。
 多くの方々に集う会にご参加いただき、先生方や同級生・先輩後輩方々と交流・親睦を大いに深めていただければと考えております。
 皆様お誘い合わせのうえ是非ご参加くださるよう心よりお待ちしております。

第14回 八戸工業大学同窓生の集う会



第15回「八戸工業大学同窓生の集う会」

日 時：平成27年10月3日（土）18：30～
 会 場：八戸パークホテル 八戸市吹上1-15-90 TEL 0178-43-1111
 会 費：5,000円
 申込先：dosokai@hi-tech.ac.jp（同窓会本部事務局宛）
 締 切：平成27年9月28日（月）
 参加申し込み：

電子メールに参加会場、氏名、卒業学科、卒業年度、連絡先電話番号（ご存知の方は学籍番号も
 お願いします）を記載して同窓会本部事務局（dosokai@hi-tech.ac.jp）、またはそれぞれの支部
 申込先へお申し込みください。
 同封のフリーFAX用紙でもお申込みいただけます。

関東支部総会のご案内

日 時：平成27年9月5日（土）17：00～
 会 場：アルカディア市ヶ谷
 東京都千代田区九段北4-2-25
 TEL 03-3261-9921
 会 費：男性6,000円 女性4,000円
 （H24～H26年度卒は割引あり）
 申込先：t.hirasawa007@gmail.com
 （同窓会関東支部事務局長 平澤亨宛）
 締 切：平成27年8月21日（金）

秋田支部総会のご案内

日 時：平成27年11月21日（土）18：30～
 会 場：協働大町ビル 秋田市大町三丁目2-44
 TEL 018-863-2111
 会 費：5,000円
 申込先：m-kikuchi@akita-sousin.or.jp
 （秋田支部幹事長 菊地雅敏宛）
 締 切：平成27年11月11日（水）

北海道支部道南部会総会

日 時：平成27年9月12日（土）18：30～
 会 場：海鮮立ち呑み のぶちゃん
 函館市千代台町28-12
 TEL 0138-31-0811
 会 費：5,000円（参加記念お土産付）
 申込先：FAX 0138-43-9670
 （道南部会事務局 山本浩道宛）
 締 切：平成27年9月7日（月）

東北支部総会のご案内

日 時：平成27年9月26日（土）18：00～
 会 場：レオパレス仙台
 仙台市宮城野区榴岡4-6-28
 TEL 022-706-0001
 会 費：5,000円（予定）
 申込先：s.narasaka@eco-ls.co.jp
 （同窓会東北支部事務局宛）
 締 切：平成27年9月19日（土）

北海道支部道東部会総会

日 時：平成28年3月開催予定
 詳細が決定次第同窓会HPでお知らせします

※各同窓会とともに大学から多数の教職員が参加する予定です。
 詳しくは同窓会HP（<http://alumni.hi-tech.ac.jp/>）にてご確認ください。
 未定情報や補足情報は随時大学同窓会HPでお知らせします。
 ※各支部同窓会への参加申し込みは、同窓会本部事務局（dosokai@hi-tech.ac.jp）
 でも受け付けます。

八戸工業大学 同窓会報

Hi-Tech Alumni Association Journal

第21号
8月発行

八戸工業大学
同窓会本部事務局
TEL:0178-25-8027
FAX:0178-25-3827

印刷・編集 同窓会事務局

HAMS(メールマガジン)会員 登録のご案内

登録手順1 仮登録
 普段お使いの携帯電話もしくは
 パソコンから、下記アドレ
 ス宛に空メールを送信します。
 携帯電話をご利用の場合、Q
 Rコードからのアクセスが可
 能です。
hams@alumni.hi-tech.ac.jp
 登録手順2 本登録
 空メールを送信した携帯電話
 もしくはパソコンに、自動で
 返信メールが届きます。返信
 メール本文中にあるURL
 にアクセスすることで本登録
 が完了します。



平成26年度八戸工業大学同窓会事業報告及び収支決算報告

平成26年4月1日～平成27年3月31日

事業報告

〈本部〉

平成26年6月28日(土)	定例代議員会
8月 9日(土)	工大二高同窓会納涼パーティー
10月 4日(土)	理事会・第14回同窓生の集う会
11月13日(木)	工大グループ同窓会連絡協議会
平成27年3月20日(金)	学位記授与式

〈支部〉

平成26年4月19日(土)	関東支部幹事会
7月12日(土)	北海道支部総会
8月 7日(木)	秋田支部幹事会
9月 6日(土)	関東支部総会
9月20日(土)	東北支部総会
10月25日(土)	秋田支部総会
11月 8日(土)	北海道支部道南部会

〈分会〉

平成26年4月18日(金)	(うみねこ会) 幹事会
5月24日(土)	(学匠会) 幹事会
10月 4日(土)	(水交会) 第1回役員会
10月 4日(土)	(土木建築) 同窓会懇親会
10月11日(土)	第12回うみねこ会 懇談会
11月21日(金)	(土木建築) 現場見学会・卒業生講演会
平成27年3月 6日(金)	感性デザイン同窓会総会
3月20日(金)	(蒼峰会) 卒業記念パーティー

決算報告

一般会計

収入の部

項 目	本年度予算額	決算額	差 異
会 費	5,300,000	5,520,000	220,000
会報協力費	600,000	473,020	△126,980
広 告 収 入	180,000	180,000	0
雑 収 入	5,000	16,035	11,035
前年度繰越金	11,126,018	11,126,018	0
計	17,211,018	17,315,073	104,055

支出の部

項 目	本年度予算額	決算額	差 異
会 議 費	200,000	100,373	△99,627
旅費交通費	1,100,000	1,046,620	△53,380
集う会経費	300,000	123,930	△176,070
印 刷 費	2,900,000	2,444,903	△455,097
通 信 費	50,000	38,921	△11,079
支 部 関 係	1,350,000	1,177,947	△172,053
運営費関係	10,000	4,266	△5,734
分会助成費関係	1,200,000	358,823	△841,177
業務委託費	86,400	64,800	△21,600
積 立 金	1,000,000	1,000,000	0
慶弔費関係	200,000	214,703	14,703
予 備 費	8,814,618	0	△8,814,618
計	17,211,018	6,575,286	△10,635,732

次年度繰越金 10,739,787

特別会計 収入の部

項 目	本年度予算額	決算額	差 異
当期積立金	1,000,000	1,000,000	0
前年度繰越金	19,000,000	19,000,000	0
計	20,000,000	20,000,000	0

平成26年度監査の結果、上記のとおり相違ないことを認めます。

平成27年6月30日
監事 左 館 直 樹
監事 夏 堀 大 司

平成27年度 定例代議員会 開催

八戸工業大学同窓会定例代議員会が七月二十五日（土）十六時から八戸グランドホテルで開催されました。昨年度の事業報告および今年度の予算、事業計画について話し合われました。議案としては次の通りです。

議案

- 第一号議案 平成二十六年度同窓会事業報告及び決算に関する件
- 第二号議案 平成二十七年同窓会事業計画及び予算に関する件
- 第三号議案 第十五回「八戸工業大学同窓生の集う会」について

この場で、本年度の全学同窓生の集う会を十月三日（土）八戸パークホテルで開催することが了承されました。また昨今の少子化の影響を受け、大学入学者も減少していることから、同窓会として大学存続のために協力できることを検討していき、大学および同窓会の発展につながる活動をしていくために、役員が今以上に連絡を取り合っ

【役員名簿】

役職	氏名	卒業年度	卒業学科
会長	福士 信雄	昭和51年度	電気
副会長	齊藤 克治	平成14年度	システム情報
副会長 (同窓教職員 員の会)	浅利 能之	昭和51年度	電気
理事	下館 政美	昭和50年度	機械
理事	岩本 明佳	昭和57年度	電気
理事	高橋 和雄	昭和55年度	建築
理事	浜部 弘毅	昭和60年度	エネルギー
理事	掛端 英二	平成2年度	エネルギー
理事	榎本 匡将	平成17年度	システム情報
理事	石橋 宣貴	平成20年度	感性デザイン
理事	住吉 貴恵	平成21年度	感性デザイン
理事(支部)	奈良坂 進	昭和50年度	機械
理事(支部)	西岡 邦夫	昭和54年度	産業機械
理事(支部)	工藤 嘉範	昭和54年度	土木
理事(支部)	古館 仁	平成10年度	機械
監事	左館 直樹	昭和57年度	機械
監事	夏堀 大司	昭和58年度	土木

平成二十七年『第十三回八戸工業大学同窓会 北海道支部総会』

十三回目を迎えた八戸工業大学 同窓会 北海道支部総会

北海道支部総会が、七月十一日（土）午後六時よりアパホテル札幌すすきの駅西にて開催されました。同窓生は、道内各地域よりご参加をいただき更に今年も同窓会会長福士信雄様をはじめ今回、本学より学長であられます藤田成隆様並びに八名の教職員の皆様には、遠方より心温まるご理解、ご支援のものと総勢四十五名様にご臨席いただきました。又、福士会長様、藤田学長様、関学長補佐様、大黒教授様、野田教授様の皆様方より北海道支部総会開催に当たりご鄭重なる祝辞を頂戴いたしまして重ねて厚く御礼申し上げます。

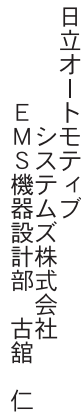
総会当日は今までに無い暑さで今年初の三十度を超える札幌でありましたがそれ以上に参加者の皆様のパワーは凄まじく体感温度は更にヒートアップし喉はカラカラの状態を開始予定時刻より早めの余興へと突入し今年も当方支部永田相談役の迷司会により支部恒例の全員参加のゲーム（二部構成）を行い決勝では超難問であり頭脳明晰を問われるパズルマッチ戦で見事藤田学長様が優勝されました。☆勝因は、繊細でレスポンスの良さが勝る方へ、神は手を差し伸べたものと分析。次回も皆様に更に高度で楽しんで頂けるゲームを選考委員会で議論厳選し全国から挑戦をお待ち申し上げておりますので、どしどしご参加下さい。次年の北海道支部総会開催は、七月二十三日（土）

を予定しております。更にパワーアップした企画で全国より多くの皆様のお越しを役員一同お待ちしておりますので是非一人でも多くの知人にお誘い合せの上お越し下さい。結びに同窓生皆様並びに本学教職員の皆様のご活躍にご健勝を更に同窓会が、多くの同窓生にご参加いただき交流の場として今後益々発展することを祈念し御礼のご挨拶とさせていただきます。

八戸工業大学同窓会北海道支部
支部長 西岡 邦夫



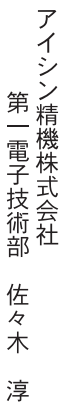
■自己紹介と関東支部の活動について



私は一九五五年から機械工学科（現在の機械情報技術学科）で大学生活をスタートさせました。当時は現在よりもはるかに学生数が多く、入学時の機械科同期は一四〇名を超えていました。私にとって、四年生の卒業研究時期が一番懐かし感じがします。大黒正敏先生の研究室に配属となりましたが、配属前には二番徹し研究室だぞ、大変らしいぞ、という話が飛び交っていました。

び交つていました。「遊びも、研究も何事も一生懸命に」というのが大黒先生の方針でした。研究はもうこんなパーベキュー忘年会兼ボーリング大会、新年会、追いつコン等々のイベントも盛りだくさんで、非常に充実した四年生の時期を過ごさせていたんだと思います。たしかに、研究の厳しさは機械科で三本の指に入ると言っても過言ではないです。ある時、先輩の大学院生が執筆していた講演論文に使用する実験データが必事となりました。しかし、実験装置の調整がうまくいかず、明け方の四時までかかってデータをとりつたこともあり、明け方の四時までかかってデータをとることが、社会に出てからも苦勞することにも、向き合えることができています。大学時代は苦勞をしても、向き合える分、研究室のメンバー十一人の結束は強かったように思います。私は大学卒業後に、八戸工業大学大学院へと進学し、そのまま大黒先生にご指導いただくことになりました。大学院の生活では非常に意義で、面白いことが多々ありましたが、それはまた別の機会に。博士課程終了後、私は株式会社日立製作所オートモティブシステムズ株式会社に入社しました。弊社は自動車部品を納入の製造を行っており、国内外の自動車メーカー様に部品を納入させていただいております。皆さんお持ちの自動車にも、「HATCHBACK」マークの部品が入っているかも知れません。たとえば、富士重工工様採用の「アイサイト」は弊社と共同で開発したものです（あまり知られていないことですね）。私は現在、佐和事業所（茨城県ひたちなか市）に勤務しており、燃料噴射用の研究エンジニアの開発・設計を行っております。私の大学時代の研究は燃料噴霧に関するものでしたので、自分の研究が現在の仕事に関連しており、非常にやりがいを感じております。

■近況報告



この度は同窓会報に寄稿させていただきありがとうございます。

発展をご祈念いたします。

水交会活動報告

OB・OGだより



清水目 浩司 さん
平成十五年 電気電子工学科卒
(信山研究室)
ニッコン株式会社技術品証部長

八戸工業大学を卒業後、私は地元の抵抗器メーカーに入社し、製品の設計開発の仕事に従事しています。設計開発は全くのゼロからスタートする事が殆どで、自分のこれまでの知識、経験を元に発想力を膨らませ、科学的根拠を元に設計しなくてはなりません。時には挫折しそうな時もあります。しかし、研究室配属中に信山先生に厳しくも優しく指導して頂いたおかげで苦難を乗り越えられる精神と自信が付き、現在では責任ある仕事を任せられるようになりました。知識習得はもちろん、人間として成長できたことに大変感謝しています。今後も自社の製品を通して地域の為、日本の為、世界の為に邁進していききたいと思っています。

■同窓生としての抱負



玉田 尚也 さん
平成二十七年
電気電子システム学科卒
(信山研究室)
就職先…三菱電機プラント
エンジニアリング株式会社

八戸工業大学に入学し、四年間で様々なことを学ぶことができました。講義では基礎学力の向上や専門知識の習得をし、仲間との議論や先生方と話をし人間性も成長できました。また、特別指導補助学生やオープンキャンパスのスタッフを通じてたくさんの人と関わる事ができました。これらすべてが私の人生において良い経験になったと思います。四年次から始まった卒業研究では信山研究室に所属し、

バイオプラスチックを用いた電気絶縁材料の研究を行いました。研究を通して専門知識の理解はもちろん、社会人としてのスキルも同時に身に付けることができました。卒業後は、八戸工業大学で身に付けたことをさらに磨いていきたいと思っています。そして、日本を支える技術者になるため日々精進し、八戸工業大学のOBという自覚をもって歴史を作っていきたいと思っています。

■学科近況報告



大学院工学研究科電子電気
工学部電気電子システム学科長
根城 安伯 先生

八戸工業大学水交会会員の皆様、日頃から電気電子システム学科へのご愛顧をいただき感謝申し上げます。今回は、電気電子システム学科および大学院電子電気・情報工学専攻における新しいトピックスについて述べさせていただきます。電気電子システム学科では、二〇一四年から卒業研究生について「合同ゼミ」を開始することとし実施しております。卒業研究というと、一つの研究室内で他の研究室と研究内容にまで踏み込んだ議論をしてこなかったのがこれまでのやり方でした。それを抜本的に変更し、毎月一回他の研究室と合同でゼミを行います。一人の学生が発表した内容に全員で議論を交わし、疑問点をぶつ合おうというもので、学生がリーダーとなって進める方式です。最終発表会では、過半数の学生が相当なプレゼンテーション能力を発揮していたと評価されました。これは大学初のことであり多方面から注目されております。一方、大学院生については、最終発表会では全員が英語によるプレゼンテーションを行うことを義務としました。これも本学では初めての試みですが、大変立派にこなしており、最後には自信を持って質疑に応じていたのが印象に残っています。これらの背景には、大学の国際化、学生のコミュニケーション能力の向上という要請があることも事実です。また、二〇一四年九月から十一月まで、タイ国からの研究者が電気電子システム学科に滞在しました。原子力エネルギー分野の基礎的な実験・理論・外部施設の訪問などの研修を体験し、国際フォーラムでの講演などをこなしました。水交会の皆様との更なる交流を通して、望ましい学生を社会に送り出すため、皆様との絆をさらに強固なものとし、八戸工業大学電気電子システム学科の人材育成において更なる基盤充実ができればと願っております。

■研究室探訪

卒業生の皆さん、お元気ですか。当研究室は昭和五十年に始まった藤田研究室を引き継ぎ、平成二十三年より佐々木・藤田研究室として研究活動を続けております。当研究室では現在、衛星リモートセンシング技術を災害の状況把握や農林水産業へ応用するための新しい解析法の開発を始め、薄膜技術による太陽電池の高効率化やOLED素子の劣化防止、MWCNTの導電材料への応用に関する研究を行っております。

研究室メンバーは相変わらず夜遅くまで和気藹々と研究やゼミに取り組んでおります。近くを訪ねることがあれば、気軽に訪問してください。皆さんのご健勝とますますの活躍をお祈りしております。



佐々木・藤田研究室

民生機器・情報通信・産業機器・車載ワイヤーハーネス製造

株式会社 岩本電機
IWAMOTO Electronics Company.

代表取締役 **岩本 明佳** (昭和58年3月電気工学科卒)

〒028-7901 岩手県九戸郡野町種市 第13地割41番25
TEL 0194-65-3830 FAX 0194-65-3899
E-mail i.wamoto@iwamotodenki.co.jp
HP http://www.iwamotodenki.co.jp/

平成 27 年度水交会 総会開催のご案内

平成27年度水交会総会を次の通り開催します。また、総会終了後は全学卒業生を対象とした「同窓生の集う会」が開催されます。水交会の皆様におかれましては、この機会にいずれの会もご参加頂ければ幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

- 日時・・・平成27年10月3日(土)
17:30～18:15
- 場所・・・八戸パークホテル
(八戸市吹上1-15-90 TEL.0178-43-1111)
- ※同日同会場18時30分から第15回八戸工業大学同窓生の集う会が開催されます。
- 会費・・・無料
※同窓生の集う会の会費は別
- 「水交会総会」並びに「同窓生の集う会」の申込方法・・・
- ①氏名、②卒業学科、③卒業年度、④水交会総会並びに同窓生の集う会の参加の有無を記載の上、9/28(月)までにメールにてお申し込み下さい。
- 申込先・・・dosokai-e@hi-tech.ac.jp
(水交会事務局)
- 水交会 HP・・・
http://www.elec.hi-tech.ac.jp/Edoso/index.html

土木建築工学科同窓会

■校長就任のご挨拶



青森県立
弘前工業高等学校校長
(土木建築同窓会副会長)
建築工学科 二期生
高橋 和雄

建築工学科二期生の高橋と申します。同窓生の皆様には各方面でご活躍のことと存じます。

先日、弘前地区のOB教職員の会のご案内をいただき、仕事の都合から少し顔を出すだけになりましたが、弘前と五所川原地区で教職につくOBが多数参加されており、大変心強く感じました。

さて、私は定期人事異動により県立弘前工業高等学校校長を拝命し、現在、弘前市民として過ごしております。十和田工業高校を経験してからの勤務となりましたが、初めて住む町、勤務する職場であり、環境も大きく異なることから戸惑うことも多く、周囲の方々からひとつひとつご教授いただきながら生活しております。ご存じの方も多いと思いますが、簡単に学校紹介をさせていただきます。

弘前工業高校は、明治四十三年に青森県初の工業学校「青森県立工業学校」として開校し、平成二十二年には創立百周年を迎えた歴史と伝統ある工業高校です。創立以来、多くの有為な人材を輩出しており、卒業生の総数は二万七千二百二十一名(平成二十七年三月)を数え、工業界はもとより、官公庁、芸術・文化・スポーツなど、全国各地幅広い分野で活躍されています。昨年度で電子機械科は閉科したことから、現在全日制は建築科・インテリア科・機械科・土木科・電気科・

電子科・情報技術科の七学科七クラスで計二十一クラス、生徒数七百三十二名が在籍しています。定時制は工業技術科一クラスで計四クラス、生徒数五十名が在籍する県内有数の学校です。

本校の教育方針を表すものとして校訓があります。

「品性は力なり」「勤労は使命なり」「常に汝の最善をつくせ」と魂を鼓舞するような言葉に歴史を感じますが、生徒はこの校訓を学校生活を送るうえでの指針として、文武両道、質実剛健を旨として、学習・部活動・資格取得・ボランティア活動など、様々な場面で目標達成に向け取り組んでいます。新年度を迎え、生徒一人ひとりが大きく成長して、多くのことに挑戦し、必ずや素晴らしい成果を収めてくれるものと期待しています。そして、私として精一杯努力して、これまで培われてきた伝統と校風を引き継ぎ、将来、全国及び地域産業界に大きく貢献できる人材の育成に努めて参りたいと考えております。八戸工業大学同窓生の皆様には、本校教育活動につきましてご理解を賜り、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

桜の季節には大いに賑わった弘前城も一段落し初夏の装いとなり、ねぶた祭りまでの少しの間落ち着いた風情でと思っておりますが、今度は天守閣を移動しての石垣工事が本格化します。学校行事も怒濤のごとく行われ、毎日追われるように過しております。そのようななか、同窓生の皆様と学生時代の話に花を咲かせるのは本当に心安らぐ一時です。同窓生の皆様とお会いすることを楽しみにしております。今後ともよろしく願います。

■学科四十周年・同窓会三十五周年 記念事業について(実施予告)

土木工学科・建築工学科は昭和五十一(一九七六)年に設置され、平成二十八(二〇一六)年で四十年が経過します。学科では、四十周年を記念した事業について協議した結果、基本的に実施することに決定しました。また、学科同窓会長と副会長にも協力を要請した結果、基本的に了承を得ました。七月六日には学科と同窓会代表の懇談会を開催し、以下の基本案を決定しました。今後、同窓会代表も加えた実行委員会です。

記念事業実施の意義：草創期からの教職員が次第に退職するため学科歴史等の情報の継承が必要、草創期

の卒業生も次第に現役を退くため現旧教職員・最近の卒業生との交流が必要、同窓会への結果率が低下しており最近の卒業生も含めてその向上が必要であり、五十周年まで待たずに今回実施する意義は大きいと判断しました。

記念事業の内容案：簡素な中にも実のある内容とし、同窓会と緊密に連携しつつ、平成二十八年度に実施します。実行委員会は竹内学科長(委員長)以下、学科教職員全員で構成します。委員会の下に幹事会を置き、福士(幹事長)、長谷川、月永、迫井、高島、同窓会代表の夏堀(会長)、斎藤(八工高)、橋詰(八工大)で構成します。内容は、今のところ次のようになっていますが、同窓会設立三十五周年と連動させて、今後実行委員会・幹事会で具体的に検討し、あらためて公表連絡します。

①記念誌の作成：学科の歴史・諸情報の継承を目的に、前回二十周年(土木)・二十五周年(建築)の内容に追加することを基本に編集作成。印刷物配布ではなくPDFファイル群を学科ホームページに掲載する予定としています。

②式典・祝賀会・講演会等の実施：同窓生の結集、学内外へのアピールを目的に、平成二十八(七月十六日(土))に八戸で開催。対象は現旧教職員、同窓生、学内外関係者、在学生代表。式典・祝賀会の前に学科教員(同窓生)による市民向け講演会を実施予定。これらの実施にあたっては、学科の広報・学生募集活動の一環として企業等から協賛を募る予定です。

八戸への参加が難しい同窓生に対して、平成二十八年度支部同窓会(北海道、秋田、東北、東京)への積極的参加を呼びかけ、各支部会とも現教職員が相当数出席する予定です。

③市民向け記念展示等：学外へのアピールを目的に、八戸市内で学科の諸データ・写真・研究ポスターの展示、体験学習などの企画を予定。コンセプトは地域貢献とし、市民・マスコミへ積極的に広報。なお、十月の学園祭でも記念展示等を行うなど、在学生も巻き込む企画とし、今後具体的に検討する予定です。

同窓生へのお願い：記念事業の実施にあたっては、同窓生の積極的な協力・参加がもつとも重要です。今後、各事業の内容が決まり次第、学科ホームページや各支部役員などを通じて随時情報を流します。記念事業の成功をめざし、御協力よろしく願います。

(実行委員会幹事長 福士憲一)

■第八回青森土木フォーラム開催

土木の日（十一月十八日）を記念し、本学を主管として、土木への理解を深め土木を志す人材を育成するため、これまで「青森土木フォーラム」を開催して参りました。今回「第八回青森土木フォーラム」の開催内容が決まりましたので、ご連絡致します。

テーマ：「くらしと土木―道―」

●講演会（パネルディスカッションを含む）

日時：平成二十七年十一月七日（土）

十三時三十分～十六時三十分

会場：県民福祉プラザ県民ホール

青森市中央三丁目二十一・三十

演題：土木の力で世の中を変える

講師：京都大学大学院教授 木村 亮先生

●ポスター展

日時：平成二十七年十一月七日（土）十一時～十七時

十一月八日（日）十時～十七時

会場：サンロード青森 二階催事ホール

●ポスター移動展

日時：平成二十七年十一月十日（火）～十三日（金）

会場：むつ市役所ロビー

土木建築工学科からは、竹内貴弘学科長、長谷川明教授、阿波稔教授、金子賢治教授、迫井裕樹准教授、関川定美技術員、高島幸典技術員が参加します。また、本フォーラムは一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会および一般社団法人建設コンサルタント協会のCPD認定プログラムです（CPD認定書は講演会場で、講演終了後にお渡しします）。同窓生の皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。



第7回青森土木フォーラム 講演会
(講師：福士憲一先生)



ポスター展等風景（はっち）

■同窓生が本学科の非常勤講師

土木建築工学科では同窓生五名の方に非常勤講師をお願いし、日々、学生の教育に携わって頂いております。今後、同窓生の皆さまには非常勤講師をお願いすることがあると思いますので、その折には、ご快諾頂くようお願い致します。本年度の、同窓生非常勤講師とその担当科目は左記のようになっております。

石藤 千春（土木一期）	施工技術
川口 實（建築専攻修了）	建築設計
松橋 義明（建築七期）	建築設計
斎藤 綾子（建築十九期）	建築設計
石橋 学（土木十七期）	応用測量

■卒業生講演会を開催

平成二十六年十一月二十一日（金）に、平成二十六年卒業生講演会を開催しました。

土木建築工学科では、進路・職業意識のさらなる向上を目的としたキャリア教育を推進するために授業の一環として卒業生講演会を行っています。今年度は、学生と年齢が近い二名の卒業生に建設業および公務員それぞれの仕事について、八戸圏域水道企業団の館知見さん（土木三十一期）、（株）中綱組の種市真城さん（土木三十一期）に、現在の仕事内容、学生の時にやるべきこと、社会人としての心構え、仕事のやりがいなどを話していただきました。在学生には、大変有意義な時間でした。

今年度も開催する予定ですので、同窓生の皆様には、ご協力を宜しくお願い致します。



公務員の仕事について紹介する
館 知見さん



建築業の仕事について紹介する
種市 真城さん

■事務局だより

□土木建築工学科ホームページには、イベント情報、Topics、Civil and Architecture ニュース、新聞記事で見る土木建築工学科などが載っていますので、是非、立ち寄って頂ければ幸いです。

URLは左記の通りです。<http://www.cea.hi-tech.ac.jp/>

□今年度の学科主催行事は、卒業研究展（会場：はっち、開催日：平成28年2月か3月予定）、3・11防災フォーラム（会場：八戸市公民館、開催日：平成28年3月11日）となっております。
詳細が決まりましたら、本学科HPへ掲載致しますので、同窓生の参加をお待ちしております。

□前述の通り、来年には学科創立40周年事業を計画しております、同窓生の皆様にはご意見等頂ければ幸いです。土木建築同窓会事務局 迫井・高島
MAIL : dosokai-d@hi-tech.ac.jp

■四年連続就職率一〇〇%を達成！

平成二十七年三月に卒業した土木建築工学科、大学院建築工学専攻および土木工学専攻の卒業生の就職率が一〇〇%となりました。これは、平成二十四年度より、四年連続の一〇〇%達成です。業種は、鉄道・道路関係、コンサルタント、ハウスメーカー、公務員など様々です。大学四年間で学んだことを活かして、今後の活躍が期待されます。ここ数年の主な進路は以下のとおりです。東北電力、東日本旅客鉄道、北海道旅客鉄道、NIPPON、前田道路、昭和コンクリート、客鉄道、NIPPON、前田道路、昭和コンクリート、大和ハウス工業、アーネストワン、大林組、前田建設工業、田中建設、コサカ技研、田名部組、エイコウコンサルタンツ、八戸市役所、弘前市役所、六ヶ所村役場など。

学匠会 活動報告

■近況報告1

B科五期卒業生

久保智子

こんにちは。私は平成二十一年度に卒業し、早六
年が経ちました。大学生活からこんなに月日は経ちます
が、思い出さない日はありません。というのも、現在
再び学生として学んでいるからです。

卒業後は、東京の日本橋に本部を置く立派な会社に
就職しました。穀物類の検査等を行っている会社で、
私は総務部に所属し会長秘書や受付業務など、目まぐ
るしく変わる日常を楽しんで過ごしました。毎日電車に
一時間揺られ自宅と往復する生活はすぐに慣れ、休日
はアクティブに過ごしたりと充実していたと思います。
そんな中、就職して四年目の夏に看護師になることを
決意しました。理由は様々ありますが、大きい理由と
しては手に職をつけたい、勉強がしたいと思ったから
です。そして「八戸看護専門学校」を社会人入試で受
験しました。倍率四倍の中無事合格し、上司に惜しま
れながら職場を退職しました。ちなみに四年間勉強と
は全く無縁だったため、英語と数学の入試問題が解け
ず、中学校の問題集からやり直しました。

平成二十六年年度の春、もう来ないと思っていた学生
生活が始まりました。感覚が大学や社会人時代から抜
けていなかったのでカルチャーショックがありました。
通学時間が長い、学内LANが無い、開校時間が短い、
全科目必修、名ばかりの長期休暇…さすが厳しいと言
われる看護学校だなと実感しました。

一年生のうちは授業の科目数が多く、試験のたびに
冷や汗をかいていました。人体の構造や働きを理解す
る解剖生理学や、看護とは何かなど、基礎として重要
な学習がほとんどでした。座学だけではなく技術の演
習や試験もあります。血圧測定、洗髪、シーツ交換な
どなど。写真は陰部洗浄、おむつ交換の試験の様子です。
幸い私は座学、実技ともに、一つの不合格も出さずに
二年生に上がることができました。

看護学生を一年ちよつとやってみて感じることは、
ものすごく考える分野だということです。答えのない
問題が多いため、様々な人の意見や自分の考えをもと
に最善を尽くしたり、常に改善し続ける姿勢が重要と
言われます。また、看護は文系と思われがちですが、
科学的根拠をもとに動く理系分野だと思います。な
で様々な実験をしたり、データとにらめっこした大学
時代と同じだなと感じています。研究することが性に
合っているため、就職先として大病院を選択した。
この報告を書いている現
在は五月ですが、六月に
初めての病院実習があり
ます。十一月からは本格
的に辛い専門実習に入っ
ていきます。畑違いで頑
張っている私ですが、応
援してくだされれば幸い
です。最後に、八戸工業大
学の先生方、同窓生の皆
様方のお祈りし近況報告と
いたします。

■近況報告2

P科八期卒業生

大阪崇長



場合によっては設定の無い仕様を顧客ニーズのヒア
リングにより技術部と打合せをおこない新たに設定する
などの過程を経て製作します。無論全てのニーズに対
応出来る訳でなくその際は顧客であるユーザーと折衝
を重ねお互いの妥協点を見極める努力をしますが、そ
れでも対応不可の場合もありユーザーの期待を裏切る
形になった事もありました。ですがこれは在学中には
一切考えた事の無い行為と思考でした。在学中は色々
なアルバイトをしましたが、いつも頭の中はバイト代
をどう使うとかその程度で正直その仕事内容を考えた
事は殆ど無かったもので、もうちよつと向き合っ
ていければ違う景色を見たのではと今は少し後悔
しています。もうひとつ営業になり良かったと思う事
は、入社以来二十二年間で社内外を合わせ相当数を超
える人間と接する機会を持つ事が出来たことです。営
業という業務に携わってなければ知り合えた数はおそ
らくこの半数にも満たなかったと思います。当然現在
も継続している関係もあれば短い期間での関係もあり
ました。また全ての関わった人間と必ずしも良好な関
係であったとは言えませんが、それも含め人脈と言え
ば大袈裟かも知れないですが今まで関わった方々のお
かげで、貴重な経験と体験をし社会人としても人間と
しても成長させて戴いたのは紛れもない事実と感じて
います。実際、私の入社当時はどちらか言うとながら
く短絡的な思考の傾向があり、他からの指摘に対して
も素直に承服しない部分が多々ありました。しかし会
社の同僚・先輩・上司、そして顧客であるユーザーか
ら様々な事の教訓を受け、現在では冷静な自己分析に
基づきこの様な文章を綴るまでに至っています。勿論入
社してから一路順風であつた訳では無いですが人間の
にもまだまだ成長過程である事は十分感じ取ります
が、これだけ自身が成長でき
る会社に出会えたことも
事実であり、今後もこの経
験を基に精進を重ねる
高みを目指して行きたいと
思っています。



株式会社ザックス
http://www.zax.co.jp

理化学機器、放射線関連製品、試
薬、エアフィルター、計量証明、化学工
場及び研究施設の運転・保守、等

八戸営業所 八戸市南郷家3丁目-21
tel 0178-73-3620

統括本社 東通村 本社：六ヶ所村
事業所：弘前、青森、大間、八戸

www.zax.co.jp

株式会社ザックス

うみねこ会 活動報告

角田宏樹君がスマートデバイス
GP二〇一四東京大会で第二位

A man with dark hair and a beard, wearing a black t-shirt with 'WINDMILL' printed on it, stands in front of a backdrop. He is holding a large, light-colored certificate or award. The backdrop features a checkered pattern with 'ART DE COSE' and 'ART DE COSE' logos, and images of a car. The text 'ART DE COSE' is repeated across the top of the backdrop.

■学科ニュース②

平成二十六年九月十九日(金)、キャンパスソフトハウス第二期プロジェクトの修了式が行われ、プロジェクトで活躍した二、四年生の学生六名が表彰されました。修了式では、青森県情報産業サービス協会専務理事 藤井隆 氏から一人ずつ修了証書が手渡されました。メンバーの一人である岡田君(当時二年生、後列中央)は第三期プロジェクトのリーダーとして活躍しています。

なお、八戸工業大学「キャンパスソフトハウス」プロジェクトとは、プログラマーとしての報酬を伴う業務を学生に橋渡しするもので、システム情報工学科と（一般社団法人）青森県情報サービス産業協会（AISA）が連携して運営に当たっています。

伊賀	旦裕	(八戸工業高校出身)
石村	啄麻	(弘前工業高校出身)
進藤	大司	(十和田工業高校出身)
浅沼	賢輝	(盛岡第四高校出身)
石亀	広大	(八戸工業高校出身)
岡田	光	(三本木高校出身)

○山本 祐輔

(平成十九年度卒業：八戸工業大学第二高等学校 教諭)

私は現在、八戸工業大学第二高等学校にて、教諭を務めています。教科は情報を担当しており、勤めて四年になります。日々、生徒のためには何ができるのか、どうすれば生徒が理解をしやすいのかと試行錯誤を繰り返しています。現在は六月に行われる、全商ビジネス文書検定や日本情報処理技能検定の資格取得に向けて、生徒とともに励んでいる日々です。職場では、丁寧な指導してくださる上司や先輩方もおり、恵まれた環境の中で業務に取り組んでいます。教職というかけがえのない仕事に携わることができたのも大学での先生方のきめ細やかな授業や指導のおかげです。大学で学んだ能力を活かし、自分の使命をしつかりと見据えて今後も頑張つていきたいと思います。

○塩倉 和也
(平成二十五年) 卒業：株式会社ジーアイテック

私は、八戸工業大学の近くにある株式会社ジーアイテックでプログラマーとして働いています。入社して半年ほどは、プログラミングの勉強やテスト等を行っていました。半年たつてからは、実際にお客様から依頼されたシステムの製造に携わるようになり、今では



新しいシステムの製造を行いながら、以前納品したシステムについての問い合わせ等があれば対応しながら作業をしています。お客様のところへ保守作業や打ち合わせ等で行くときはスワップですが、社内でするときは、社内で仕事をするとときは、私服で作業をしています。入社してすぐに、プログラミングの勉強をしていた時に思ったのは学生の時にもっと勉強していれば良かったなと思いました。会社に入ってからでも問題無いとは思いますが知識が少しでもあるのに越したことはないと思います。スケジュールに遅れが出たり、問題があれば夜遅くまで残る事もありますが、システムが完成した時の達成感など、やりがいのある仕事だと思っています。技術者として、自分はまだまだですが、これから頑張っていきたいと思います。

毎年恒例のシステム情報工学科同窓会「うみねこ会」を学園祭初日に開催します。今年で12年目を迎え、毎年多くの教職員・卒業生が集まっています。卒業生なら誰でも参加できますので、是非御参加ください。詳細は後日うみねこ会WEBページなどでお知らせします。

申し込み先: katsuji@hi-tech.ac.jp (うみねこ会会長 齊藤克治)
うみねこ会 URL: <http://alumni.hi-tech.ac.jp/umineko/>

～愛される企業を目指してがんばろう～



URL <http://www.sae.co.jp/>

感性デザイン同窓会 活動報告

OB・OGだより

○井上拓郎さん
(平成二十一年度卒業・第二期生・福祉施設勤務)



私は中学の時から卓球を始め、高校の時に東北大会に出場し、「次は全国大会に出場したい」という目標を持って八戸工業大学に入学しました。学生時代は卓球に明け暮れました。

練習は平日二時間程しかできませんでしたでしたが長期休暇期間の時は朝九時から夜の七時半まで練習の時もありとてもハードだった覚えがあります。

練習の成果もあり、春季リーグ戦二位、東北学生個人十二位、全国インカレベスト三十二の成績を残すことができました。頑張ってきた甲斐があったと思うことができました。

学業ではパソコンを使った演習の授業や福祉ボランティア実習の授業が印象に残っています。福祉ボランティア実習で高齢者施設にお手伝いに行った時に高齢者の方達と触れ合い、お話を聞いたりして、「将来は人のお手伝いをする職に就こう」と考えるようになりました。卒業後は山形県米沢市の福祉施設に就職しました。昨年、国家資格である介護福祉士の試験を受け無事取得することができました。この業界に入り六年目となりますが、様々な問題を目の当たりにしてきました。介護職員不足、低賃金、少子高齢化……しかしどんな

問題があっても私はこの職から離れることはないでしょう。なぜなら私はおじいちゃんやおばあちゃんが好きだからです。

なによりも私が言いたい事は今の高齢者の方々は戦争の敗戦からも諦めずに今日まで必死に生きてきた素晴らしい方だということです。そんな方々のお手伝いを出来るというのは大変光栄なことだと私は思います。人間は必ず「最期」を迎える時がやってきます。

「ここで最期を迎えられてよかった」と利用者御本人、御家族の方々にそう思ってもらえるようこれからも努めていきます。

新任教員のご紹介



副学長
感性デザイン学科教授

橋本 都 先生

卒業生の皆様、四月から八戸工業大学感性デザイン学科教授となりました橋本都と申します。昨年度より大学副学長・法人総合企画室長を務めてきましたが、本年度から教職課程科目「特別活動」をもつこととなり、学科所属（基礎教育研究センター兼任）となりました。よろしくお願ひします。

私は、函館市の五稜郭近くで生まれましたが、父の転勤で八戸市に一家転住し小中高と過ごしました。お茶の水女子大学家政学部児童学科に進み、幼稚園（悠仁さまの卒園で注目されました。）の観察実習など児童臨床学を専攻し、さらに、親の希望もあって中高の教職課程（家庭科）をとりました。

当時の私にとって教員免許状がこれほど重要な資格になるとは思っていませんでしたが、社会人のスタートは青森県立高校の臨時講師でした。その後、教諭、指導主事、文部省教科調査官、県青少年・男女共同参画課長、八戸南高校長、県環境生活部次長などとなり、

最後は県教育委員会教育長を務めました。どれも教育に関係する仕事でした。そのなかでも教職は、子供の成長を身近で実感でき、厳しいけれど喜びも多かったように思います。

学生のころ聞いた話をひとつ紹介します。画用紙に怪獣を描いた子供が「ウルトラマンが怪獣をこう持ち上げてくれるんだあ」というけれど、ウルトラマンの姿がない。「ウルトラマンは」と聞いたら紙の裏にちゃんと描いてあったそうです。子供の発想は豊かですね。考えてみれば、感性や創造性は人間の中に無限にあるものでしょう。

感性デザイン学科の教員として、学生一人ひとりの発想や考え方を大事にして、孫のような学生の皆さんと楽しく接していきたいと思っています。

事務局だより

今年度は感性デザイン学部感性デザイン学科開設十一年目になります。あつという間の十年でした。感性デザイン同窓会にも多くの同窓生のみなさんがおられることを嬉しく思います。最近、感性デザインの卒業生同士のご結婚のお話も聞えてきており、大変嬉しい限りです。

学科の近況を報告しますと、PC環境が昨年度末までに更新されました。WINDOWSルームは前方で自由なプレゼン等ができるスペースとなっています。MACルームにも新しいiMacが整備されました。学科には、よく卒業生の方々が顔を出してくれています。大学周辺にお越しになる際には学科にも寄っていただき、教職員に顔を出していただくことは勿論、学科の設備も見学してみたいです。

今年度は感性デザイン同窓会総会を開催する年にもなっているので、卒業生のみなさん、これを機会に同窓生の方々と先生との交流をしませんか！ご協力をよろしくお願ひ致します。

同窓会ニュース

ドクターカー

八戸市に寄贈

本学は平成二十七年六月二十三日、機械情報技術学科浅川拓克助教のグループと、八戸市立市民病院の今明秀副院長らが共同開発してきた移動型緊急手術室「ドクターカーV3」を八戸市に寄贈しました。本学メディアセンタ―で行われた寄付贈呈式では、藤田成隆学長が小林眞市長に目録と鍵のレプリカを手渡しました。開発のきっかけは東日本大震災の経験で、震災救援に特化したものではなく、普段から使えるものこそが現場で真に役立つ車になるというコンセプトのもとに開発されました。V3は人工心肺補助装置装着手術や、長時間圧迫された際おこるクラッシュ症候群の患者に人工透析を行うことができ、救命率と社会復帰率の向上が期待されます。



退職職員

本年三月三十一日をもって、以下の教職員の方々が退職されました。長い間お疲れ様でした。

エネルギー環境システム研究所教授
感性デザイン学科教授
阿部 勝憲

法人事務局人事課長
大津 正道

山本 富男

新任教職員紹介

平成二十七年度より、あらたに採用となりました教職員を紹介いたします。今後ともよろしく願います。



同窓生減免制度等について

八戸工業大学では、同窓生のご子弟を対象として、入学金二十五万円を全額免除し、入学にかかる経済的負担の軽減を図っています。

また、入学時に採用する「八戸工業大学特待生制度（学業・スポーツ）」や入学後の成績等により採用する「八戸工業大学奨学生制度（同）」を実施し、保護者の皆様への経済的支援を行っています。

特待生制度、奨学生制度とも年額六十万円（工学部特待生A・奨学生Aの場合）が免除となり、四年間では最大二四〇万円が免除となります。

平成二十七年度入学試験での採用実績は、学業特待生・スポーツ特待生合わせて五十一名が採用され、現在、全学で特待生・奨学生一五一名が在籍しています。

詳細につきましては、大学ホームページや大学案内パンフレット等でご確認いただき、是非、ご活用ください。すようお願い申し上げます。

お問い合わせ先・・・入試部入試課
電話 0120-8501276

（入試課直通フリーダイヤル）



☆同窓会報への広告募集について☆

同窓生では「同窓生の集う会」開催など各種事業を行っております。年に一度発行する同窓会報もその事業の一環であり、本会の活動内容や大学の近況等を発信するメディアとして、毎年多くの同窓生にご愛読されています。

一方で会報発行に係る経費（印刷および発送費）は同窓生数の増加とともに増え続けています。

そこで、この経費の一部に皆様からの広告費収入を充当することにより、会報発行に係る経費削減を図りたいと思います。

つきましては、この同窓会報を永続的に発行していくためにも、経費ご多端の折とは存じますが、同窓会報への広告掲載についてご協力いただきますようお願い申し上げます。

1. 同窓会報第22号発行付月 平成28年8月中旬
2. 発行部数 約13,000部
3. 広告規格及び金額（カラー：白黒）
 - 1) 1コマ（約6cm×4cm） ￥30,000
 - 2) 2コマ（約6cm×4cm） ￥60,000
 - 3) 3コマ（約6cm×4cm） 応相談
- ※広告とはページ下段部に3コマまで入れることができます。
4. 申込・問合せ先 八戸工業大学同窓会本部事務局
E-mail dosokai@hi-tech.ac.jp
5. 申込期限 平成28年6月16日（木）
6. 広告原稿提出期限 平成28年6月30日（木）



① 1コマ（約6cm×4cm）



② 2コマ（約6cm×4cm）

同窓会事務局の連絡先（各種連絡先としてご利用下さい）

本部事務局（学務部学生課）

TEL.0178-25-8027 E-mail:dosokai@hi-tech.ac.jp

機械工学科・産業機械工学科・機械情報技術学科（機械情報技術学科事務局）

TEL.0178-25-8010 E-mail:dosokai-m@hi-tech.ac.jp

電気工学科・電気電子工学科・電子知能システム学科（電気電子システム学科事務局）

TEL.0178-25-8020 E-mail:dosokai-e@hi-tech.ac.jp

土木建築工学科・土木工学科・環境建設工学科

建築工学科（土木建築工学科同窓会事務局）

TEL.0178-25-8076

E-mail:dosokai-d@hi-tech.ac.jp

エネルギー工学科・生物環境化学工学科（バイオ環境工学科事務局）

TEL.0178-25-8050 E-mail:dosokai-p@hi-tech.ac.jp

システム情報工学科（システム情報工学科事務局）

TEL.0178-25-8080 E-mail:dosokai-i@hi-tech.ac.jp

感性デザイン学科（感性デザイン学科事務局）

TEL.0178-25-8070 E-mail:dosokai-k@hi-tech.ac.jp

同窓会事務局から

●同窓生の皆様へ

本誌同窓会報をご家族の方が見て同窓生本人が見ていないことがあるようです。お手数ですが、ご子女に了承いただき同封の表紙にご子女現住所等必要事項をご記入のうえ、フリーFAXにてご送付下さい。

●同窓生の皆様へ
会報が届かない、見たことがないといった同窓生がおりましたら、本部事務局まで、電話またはメールで送付先（氏名、現住所、学籍番号または卒業年科）を連絡するようお願い下さい。また現住所等変更になりましたら、速やかに同窓会事務局までご連絡下さるようお願いいたします。

●ご家族の方へ

協賛金のお願い

平成14年3月に同窓会報第1号（創刊号）を発行以来、号を重ねて今回も約13,000名の会員にお届けすることができました。会報を通して、新たな会員相互の親交が生まれたというお話を伺います時、発行の継続が同窓会本来の目的に叶っていくものと考えます。今後、会報発行を維持していくための費用として、皆様には協賛金をお願いをさせていただいております。本年度より協賛いただいた方のお名前を次号に掲載させていただきます。掲載をご希望されない方は、恐れ入りますが、本部事務局までご連絡ください。次号もまた、皆様からの様々なご意見に耳を傾け、魅力ある紙面づくりに頑張っております。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

同封物の見方

貴方の整理番号です。

現在、住所が判らず会報誌をお届けできない方々です。ご存知の方は、フリーダイヤルまたはフリーFAXまでご本人よりご連絡いただけるようお願いください。

携帯電話QRコード

現在、同窓会でお預かりしている貴方の情報です。変更のある方は、いずれかをご利用下さい。

- ①フリーダイヤル
 - ②QRコード（携帯電話）
 - ③フリーダイヤル
- ご協力お願いします。

同窓会活動を永続的なものとするため、毎年、協賛金を募っております。何卒ご協力をお願いいたします。お近くの郵便局または、コンビニエンスストアをご利用下さい。

〈お問い合わせ〉

フリーダイヤル 0120 -10-9899 （内線92） 平日10:00～17:00
フリーFAX 0120 -10-9184 24時間受付